

ツアー番号
LK3T3XGRTW

セイロン・エンディアメント（28日間）

22日間・21泊　ドライバーガイド付きプライベートツアー

AI生成画像・実際の写真ではありません

このツアーについて

この28日間のツアーはスリランカを一周する長いループに沿って進み、南西沿岸のヒッカドゥワとゴールから始まり、南沿岸をミリッサとヤラを通って進み、エッラ、ヌワラエリヤ、キャンディの丘陵地帯に上がり、ダンブッラ周辺の文化三角地帯に下りてから北部のトリンコマリー、ジャフナ、アヌラッドゥプラに向かい、コロンボとネゴンボの西沿岸で終了します。ビーチでの時間、野生動物サファリ、丘陵地帯の景観、島の主要な歴史的および宗教的遺跡を一つの連続した行程でカバーしています。

旅行者はゴールなどの植民地時代の町、水泳やリラックスのための海岸線、ヤラとミンネリヤの国立公園でヒョウとゾウを観察、紅茶地帯の列車旅行、ポロンナルワとアヌラッドゥプラの古代都市、シギリヤ岩要塞、ダンブッラの石窟寺院を体験します。北部はジャフナとそのヒンドゥー教寺院と島の聖地で代表され、より短い南部と丘陵地帯の行程より幅広い地理的および文化的範囲をツアーに与えています。

このツアーはシャフェールガイドが到着時に旅行者に会い、完全なルート全体に同行し、各日がその日の地域の指定された観光地、訪問地、またはアクティビティのセットを中心に構成されています。



日程詳細

1日目 ヒッカドゥワ → ガッレ（1〜3日目）

空港到着後、ゴール南部州にあるビーチリゾートタウン、ヒッカドゥワへ移動してチェックインし、ゆったりと過ごした後、ゴールのコロニアル要塞とその周辺の見どころを探索します。



ヒッカドゥワ

サンゴに縁取られたビーチで知られるリゾートタウンで、チェックイン後はビーチリゾートで夕方のひとときをのんびりとお過ごしいただきます。

Astronomyinertia · CC BY-SA 3.0



ゴールの旧コロニアル都市

ポルトガルとオランダがかつて拠点を置いた要塞都市を探索します。アジアで最も保存状態の良い要塞の一つであるゴール要塞をはじめ、博物館や灯台、オランダ語の名が残る石畳の街並みを巡ります。

Rovin Shanila · CC BY-SA 4.0



ハンドゥヌゴダ・ティーファクトリー

ヴァージン・ホワイトティー・ファクトリーとしても知られるこの工場を訪れ、生産されるお茶の歴史や、手を触れずに摘み取られ加工される「ヴァージン・ホワイトティー」の製法を学びます。その後、お茶とケーキを楽しむテイスティングタイムがあり、茶葉の購入もできます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ルマッサラ

ゴールの東3キロに位置する丘で、頂には白いダゴバ（仏塔）が建っています。地元の伝承では、ラーマーヤナに登場するハヌマーンとドロナギリ山、またシータが身を寄せた場所とも結び付けられています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



竹馬漁師

コッガラ沖の海上で竹馬に乗って漁をする漁師たちの姿を見学します。世代を超えて受け継がれてきたこの漁法の話を聞き、夕暮れに海岸線を背に浮かび上がる漁師たちのシルエットを写真に収めます。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

4日目 ミリッサ（4〜5日目）

南海岸の有名な観光地であり、地元ではのんびりとした雰囲気で知られるミリッサのビーチで、2日間ゆったりとお過ごしいただきます。



ミリッサ・ビーチ

ウェリガマ湾東端に位置する、ヤシの木や岩場のプールが並ぶ弓形のビーチ。弧を描く砂浜は、まるで孤立した島にいるかのような印象を与え、ここで2日間のんびりとお過ごしいただきます。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0

6日目 ヤーラ（6〜7日目）

島の南東海岸にあるヤーラへ向かいます。途中、ウミガメの保護施設と、むき出しになった珍しい海岸地形に立ち寄り、その後スリランカを代表する国立公園の一つでサファリを楽しみます。

ウミガメ保護施設

レカワ・ウミガメ保護施設では、スリランカの海岸に産卵する5種類の絶滅危惧ウミガメとその保護活動について学びます。日中のウミガメ観察に参加したり、数時間ボランティアをすることもできます。



ウサンゴダ

木がほとんど生えていない珍しい海岸台地で、蛇紋岩には有毒な重金属が含まれており、特定の小さな植物だけが育つことができます。ラーマーヤナの伝説では、ハヌマーンの燃える尾や、ラーヴァナ王の伝説の飛行戦車と結び付けられています。

A.Savin · FAL



ヤーラ国立公園

島内で2番目に大きい国立公園での終日サファリ。南東海岸に位置し、スリランカヒョウの生息地として知られるほか、野生のスイギュウ、ナマケグマ、ゾウ、200種以上の鳥類が生息しています。

Ranmith Welikala · CC BY-SA 4.0

8日目 エッラ → ヌワラエリヤ（8〜10日目）

内陸の高原タウン、エッラへ向かい、古代寺院の遺跡とハイキングを楽しんだ後、中央高地を走る絶景列車に乗ってイギリス統治時代の避暑地であったヌワラエリヤへ移動します。



ブドゥルワガラ寺院

10世紀に遡る、大乗仏教に属する7体の像を持つ古代仏教寺院群。巨大な仏像には、かつて鮮やかに彩色された漆喰の衣の痕跡が今も残り、中央の脇侍像は観音菩薩（アヴァローキテーシュヴァラ）を表すと考えられています。

Vishvax (talk) (Uploads) · CC BY-SA 3.0



エッラ

一帯の茶畑や奇岩を探索し、リトル・アダムスピークからの景色を眺め、ナインアーチ鉄橋を歩いて渡り、珍しいループ線を持つデモダラ駅で巡りを終えます。

Dan arndt · CC BY-SA 4.0

エッラ・ロック

一帯で最も高い展望地の一つへ上る3時間のハイキング。途中、ナムヌクラ山脈やリトル・アダムスピークの景色を眺め、頂からはバンダラワラ山脈、プーナガラ丘陵、ナランガラ、エッラ・ギャップ、バドゥッラへ向かう鉄道線路が見渡せます。



絶景列車の旅

ハプタレーからヌワラエリヤまで中央高地を走る列車の旅で、山々、滝、茶畑、霧に包まれた小さな村々を車窓から眺めます。

Chamal N · CC BY-SA 3.0



ヌワラエリヤ

19世紀から20世紀初頭にかけてイギリス人の主要な保養地として栄えた高原のタウン。コテージや別荘、邸宅が並ぶ街並みを歩き、赤レンガの旧郵便局、ビクトリア公園、グレゴリー湖畔を訪れます。

Abdul malik77 · CC BY-SA 4.0

11日目 キャンディ（11〜12日目）

キャンディへ向かう途中、茶工場とランボダの滝に立ち寄り、丘の都キャンディでは伝統舞踊ショーの鑑賞、仏歯寺、そしてペラデニヤ王立植物園での時間を楽しみます。

茶工場見学

現役の茶工場とプランテーションを訪れ、セイロンティーの製造工程を見学します。1824年に中国から持ち込まれた茶の木に始まり、1852年にジェームズ・テイラーがルーレコンデラ農園で商業的な茶栽培を確立した歴史をたどります。



ランボダの滝

スリランカで11番目に高い滝を訪れ、マックウッズ茶園では茶の品種と加工工程を学ぶガイド付きツアーに参加し、ハクガラ植物園とグレゴリー湖畔を散策します。

A.Savin · FAL



キャンディアン・カルチュラルショー

火の踊り手、剣の踊り手、太鼓の演奏に合わせて踊るキャンディアンダンサーたちによる、スリランカの伝統芸能を1時間にわたって披露するパフォーマンスです。

Arian Zwegers · CC BY 2.0



仏歯寺

16世紀に建てられた、仏陀の聖なる歯の遺物を納め守るユネスコ世界遺産。赤・クリーム色・黒で彩色された通路や広間、彫刻の施された柱、黄金の仏像で装飾されています。

A.Savin · FAL



王立植物園

19世紀初頭に設立されたペラデニヤ王立植物園には、ランや香辛料、薬草植物など4,000種以上の植物が集められており、大砲の木（カノンボールツリー）や吊り橋、生垣の迷路もあります。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0

13日目 ダンブッラ（13〜15日目）

センブワッタ湖とスパイスガーデンを経由してダンブッラへ移動し、文化三角地帯に位置するこの地を拠点に、シーギリヤ、村の見学ツアー、ミンネリヤ国立公園、ポロンナルワ、ダンブッラ石窟寺院を探索します。



センブワッタ湖

エルカドゥワ近郊にある、天然の湧き水から形成された湖で、地元では深さ30〜40フィートあると言われています。隣接する天然の湧き水を利用したプールもあります。

Sivanandhan Dishanthan · CC BY-SA 4.0



スパイスガーデン

コリアンダー、チリ、シナモン、カルダモン、ナツメグなどとその用途について学ぶ、スパイス・薬草園のガイド付きツアーです。ロティやカレー粉をゼロから作る伝統的な料理デモンストレーションも含まれます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



シーギリヤ・ロック・フォートレス

カーシャパ王のために築かれた5世紀の岩の要塞に登ります。ライオンの前足をかたどった門をくぐり、フレスコ壁画を鑑賞し、階段状の庭園と今も機能する貯水槽を経て、トンネルを通って旧王宮跡へ向かいます。

Wrobell · CC BY-SA 3.0



シーギリヤ村ツアー

牛車に乗る体験、穏やかな湖でのカタマラン（筏）サファリ、水田地帯の散策、伝統的な料理デモンストレーション、そしてロータスの葉に盛られた手作りの昼食を含む村の体験ツアーです。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ミンネリヤ国立公園

5月から10月の乾季に150頭を超える象が集まることで知られる公園で、3時間のサファリを楽しみます。その他の哺乳類や鳥類、爬虫類、両生類も見られます。

Stuart Pinkney · CC BY 2.0



古代都市ポロンナルワ

10世紀から13世紀にかけて繁栄したスリランカ第二の古代王都の遺跡。ガル・ヴィハーラ、ワタダーゲ、蓮池、ランカティラカ寺院、そしてパラークラマバーフ王に関連する像などが残っています。

Bernard Gagnon · CC BY-SA 3.0



ダンブッラ石窟寺院

紀元前1世紀に遡る黄金寺院の洞窟群で、仏陀の生涯を描いた壁画や、5つの主要な洞窟（神王の洞窟、大王の洞窟を含む）に数百体の仏像・神像が収められています。敷地外には巨大な黄金の仏像も立っています。

Lankapic · CC BY 2.5

16日目 トリンコマリー（16〜18日目）

北東海岸に位置するトリンコマリーでは、スリランカ屈指の美しいビーチに加え、歴史的な要塞や寺院、海洋生物にも出会えます。



コネスワラム寺院

インドの聖詩人たちに称えられた古代寺院で、その歴史を描いた壁画や紀元前1580年に遡る洞窟祠があり、本堂は紀元400年頃から発展してきました。

Shamli071 · CC BY-SA 3.0



フレデリック要塞

1624年にポルトガルによって建設された要塞で、後にオランダによって解体・再建されました。取り壊されたコネスワラム寺院から運ばれた石材が今も残っています。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ニラベリ・ビーチ

スリランカ最高のビーチの一つとされ、黄金の砂浜、ヤシの木、澄んだ青い海が広がります。10世紀のタミル語碑文には、このビーチがコネスワラム寺院への土地寄進の一部であったことが記されています。

Anton 17 · CC BY-SA 4.0



トリンコマリーのホエールウォッチングサファリ

シロナガスクジラ、マッコウクジラ、ナガスクジラを自然の生息地で観察する5時間のツアー。自然解説員が同行し、低負荷で鯨を観察するための識別方法などを教えてくれます。

Ji-Elle · CC BY-SA 3.0



ピジョン島国立公園

サンゴ礁に囲まれた大小2つのピジョン島からなる公園で、繁殖する岩鳩や、様々な種類のサンゴ、海洋生物の生息地となっています。

AntanO · CC BY-SA 4.0



ティリヤーヤ・ワタダーゲ

かつてタミル仏教が信仰された村で、仏陀が二人の商人に髪の遺髪を授けたとされる場所を記すギリハドゥ・セヤ・ストゥーパがあり、またワンニヤール首長の要塞跡も残っています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

19日目 ジャフナ（19〜20日目）

北部に位置するタミル人が多数を占めるジャフナ半島で、街とその寺院、そして近隣の島の聖地を探索します。



ジャフナ

北部半島の中心都市で、ナルール、ナイナティヴ、マーヴィッタプラムなど4千年以上の歴史を持つヒンドゥー寺院があり、オランダ要塞、戦争記念碑、サラスワティ・マハル図書館、ナーガディーパ・ヴィハーラ、ジャフナ最後の王チャンキリ1世の宮殿なども見られます。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません



ナーガディーパ島

ジャフナの北に位置する島で、シンハラ人からはナーガディーパ、古代にはマニパッラヴァムと呼ばれていました。蛇を崇拝するナーガ族と結び付けられており、ナイナティヴのナーガプーシャニ・アンマン寺院とナーガディーパ・プラナ・ヴィハーラにその名残が見られます。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0



ナイナティヴ・ナーガプーシャニ・アンマン寺院

プトレマイオスの記録によれば少なくとも2千年の歴史を持つ寺院で、インドラ神信仰の伝説と結び付けられています。4つのゴープラムと複数の堂を持つドラヴィダ建築が特徴で、世界に64か所しかないシャクティ・ピータムの一つです。

Wikinamaste · CC BY-SA 3.0

21日目 アヌラーダプラ

千年以上にわたり古代スリランカの都であり、上座部仏教の中心地でもあったアヌラーダプラを1日かけて巡り、廃墟となった僧院や聖堂を探索します。



アヌラーダプラ遺跡都市

紀元10世紀まで使用されていた古代の都の遺跡で、仏塔や僧院の建物、池が広大な範囲に点在しています。かつて古代世界で最も高い建造物の一つであったジェータヴァナーラーマ仏塔、スリー・マハー菩提樹、アバヤギリ僧院の遺跡などがあります。

Thisaru Tharuka · CC BY-SA 4.0

22日目 コロンボ → ネゴンボ（22〜24日目）

首都コロンボの名所やナイトライフを2日間かけて巡り、最終日は空港近くのビーチタウン、ネゴンボで過ごした後、出発を迎えてツアーを終えます。



コロンボ市内観光

旧灯台、旧国会議事堂、ゴールフェイスホテル、ゴールフェイスグリーン、ガンガラーマ寺院、国立博物館といった首都の名所を巡り、モールやブティック、デザイナーズショップも訪れます。

Gihanud2001 · CC0



コロンボのナイトライフ

ビーチパーティーやカクテル、音楽、カジノ、深夜まで営業するブティックレストランなど、コロンボのナイトライフシーンを楽しみます。

Gihanud2001 · CC0



ネゴンボ

空港近くの西海岸に位置するビーチタウンで、何世紀も続く漁業、砂浜のビーチ、マリンスポーツ、そして約50年前に沈んだ難破船の周囲で楽しめるダイビングが魅力です。船の周りには今では多彩な魚たちが生息しています。

AI生成画像 · 実際の写真ではありません

含まれるもの

含む

- Transport in a Private Vehicle, inclusive of, cost of fuel, parking & highway tolls.
- Service of an English-Speaking Chauffeur Guide throughout the tour.
- All prevailing taxes and service charges (Except for Credit Card Charges).

含まない

- Hotel Accommodation.
- International / Domestic Airfare.
- Any expenses of personal nature.
- Entrance fees to the respective sites.